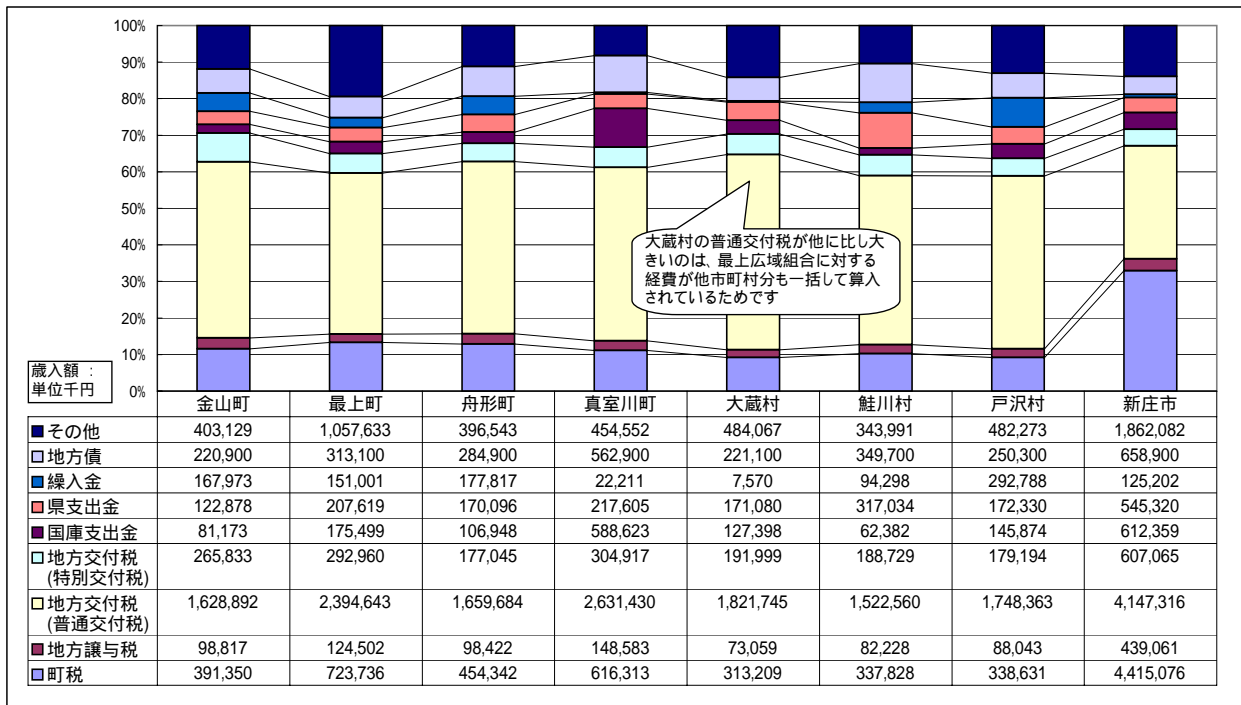


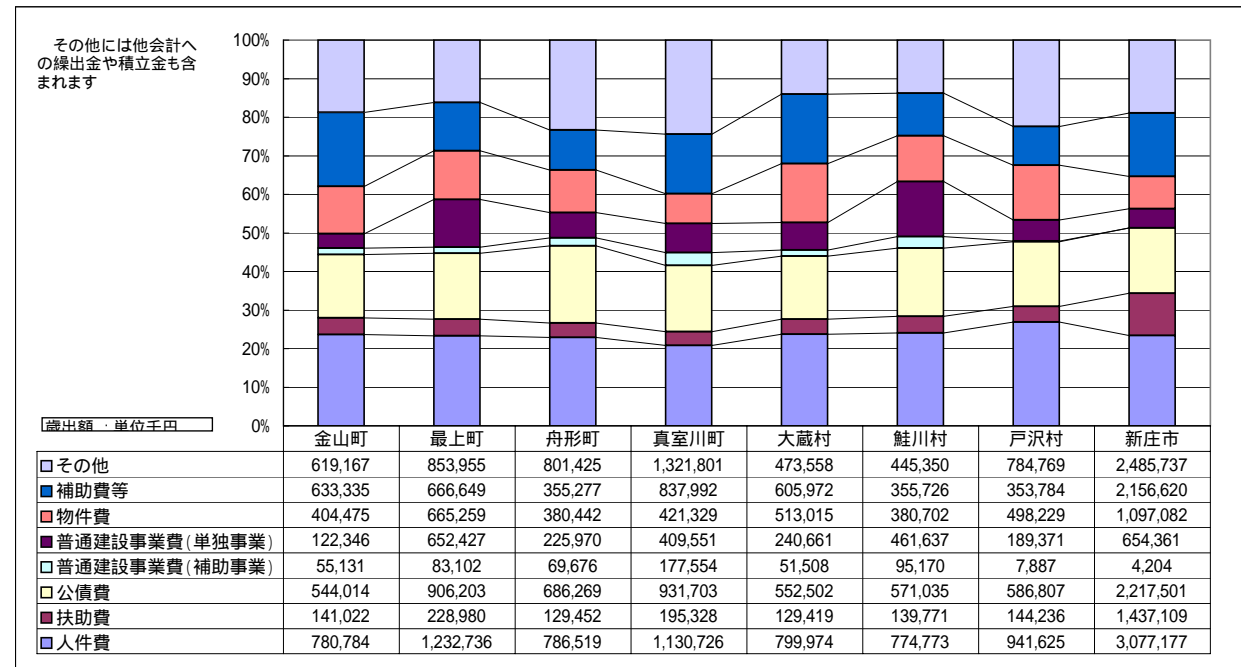
18年度最上郡内市町村決算歳入・歳出構成比率比較

主な歳入



最上管内の歳入決算額の構成比率を表したグラフです。新庄市を除き地方交付税が歳入の50%超も依存しています。新庄市の場合、税収等の一般財源が大きいので地方交付税の占める割合は町村に比較して小さくなっています。また、わが町と新庄市を除いて他の町村は過疎地域指定となっており、過疎債を発行した場合は普通交付税にその償還費の70%が算入されることから、過疎指定された場合は普通交付税上では有利となっています。一方、わが町の町税については、残念ながら長引く雇用低迷や企業も少ないなどの影響もあり、真室川町、最上町、舟形町と比較するとかなり少ない状況となっております。国・県支出金は補助事業などにより真室川町が特に大きいです。平均的にほぼ同じ割合となっているようです。なお、このグラフは決算総額を100とした場合に各歳入がどれほどの割合を占めているかを示したもので、実際の歳入総額はグラフ下の表内の数字となっております。

主な歳出



主な歳出決算額の構成比率を表したグラフです。金山町は、病院会計、水道会計への補助金を含む補助費等の占有率が大きい反面、義務的経費(人件費、扶助費、公債費)の割合が管内でも小さくなっています。共通的な特徴として、建設事業費については、どの市町村も歳出削減を余儀なくされているため、構成割合はかなり小さくなっています。その他の経費については、他会計への繰出金や積立金等を含んでおり、市町村の特殊事情で、様に比較できませんが、人件費と同じくらい占有比率が大きい傾向にあります。